

令和 8 年度 福祉文教委員会 第 1 回議会報告会

令和 8 年 9 月 2 日

委員長 【 高村 芳章 】

議会報告会 実施計画	委員会 テーマ	『読書のまち御殿場』を実現する家庭・地域の読書文化づくり			
	テーマ 設定目的	幼少期から家庭や地域が協力し、世代を超えたつながりを通じて読書文化を共有する土壌をつくり、地域の未来を担う子どもたちをはじめ市民全体が読書を楽しみ、心豊かな市民生活及び活力ある社会の実現を目指す。			
	対象団体	御殿場市立図書館協議会、子ども読書活動推進会議			
	調整事項	実施日	令和8年8月21日（金）		
		時間	午後3時00分	～	午後5時00分
		会場	「ほんてらす」会議室		
		出席 予定者	福祉文教委員会委員7名、御殿場市立図書館協議会委員10名 子ども読書活動推進会議委員14名		
事前準備	役割 分担	挨拶・基調報告・講評：高村委員長 司会進行：昌美副委員長 グループワーク：全員 受付：辻川委員、恵美子委員、芹澤委員 案内：永井委員、川上委員			
	資料	基調報告資料：高村委員長			
備考	行政視察した内容を基調報告した後、3グループに分かれ、ワークショップ形式で、問題や課題の抽出、また共有して取り組んでいくべきこと等を意見交換する。				

議会報告会実施報告	実施日時 参加者	実施日	令和 8 年 8 月 2 1 日（金）			
		時間	午後 3 時 0 0 分		～	午後 5 時 0 0 分
		会場	「ほんてらす」多目的会議室 1 ・ 2			
		当日	福祉文教委員会委員 6 名			
		参加者	「図書館協議会委員」及び「子ども読書活動推進会議委員」 1 6 名			
	実施内容 概 要	「『読書のまち御殿場』を実現する家庭・地域の読書文化づくり」をテーマに実施した行政視察・管内研修について、基調報告した。 その後、3 グループに分かれ、基調報告の感想や本市の現状、できること・やりたいこと等について、ワークショップ形式で、意見交換し、グループごとに発表した。 提出された意見等を基に、市に働きかけていくこととし、報告会を終了した。				
		報告書	報告書作成	高村委員長		詳細は別紙
	市議会だより		高村委員長		原稿は後日	
備考						

別紙様式 2

福祉文教委員会 議会報告会実施報告書

開催日時	令和 8 年 8 月 2 4 日（金） 午後 3 時 0 0 分～午後 5 時 0 0 分	
開催場所	ほんてらす 多目的会議室 1 ・ 2	
テ ー マ	『読書のまち御殿場』を実現する家庭・地域の読書文化づくり	
出席議員	司会者	小林 昌美 （副委員長）
	報告者	高村 芳章 （委員長）
	その他	ワークショップのグループ A：小林昌美副委員長、永井誠一委員 B：高村芳章委員長、芹澤勝徳委員 C：小林恵美子委員、川上秀範委員
参加人数	福祉文教委員会委員 6 名 「図書館協議会委員」及び「子ども読書活動推進会議委員」 1 6 名	
実施内容	「『読書のまち御殿場』を実現する家庭・地域の読書文化づくり」を年間テーマとし、行政視察・管内研修をした内容を基調報告した。 その後、3 グループに分かれ、基調報告の感想や本市の現状、できること・やりたいこと等について、ワークショップ形式で、意見交換し、グループごとに発表した。 提出された意見等を基に、市に働きかけていくこととし、報告会を終了した。	
主な意見・提言等	別紙のまとめ及びアンケート集計結果のとおり。	

以上のとおり、報告します。

令和 8 年 9 月 2 日

御殿場市議会議長 様

御殿場市議会 福祉文教委員会 委員長 高村 芳章

令和8年8月21日（金） 福祉文教委員会 議会報告会まとめ



1 議会報告会の概要

福祉文教委員会では、「『読書のまち御殿場』を実現する家庭・地域の読書文化づくり」をテーマとして、議会報告会を開催した。

報告会では、本委員会で行った行政視察及び管内研修に関する基調報告をするとともに、市民参加型のグループワークを実施し、市民の読書活動に関する現状や課題について、参加者から率直な意見を聴取した。

本報告書は、各グループから提出された意見を整理し、市民の現状認識や課題意識を明らかにするとともに、今後の委員会活動及び市政への反映に資することを目的とするものである。

なお、本議会報告会の参加者は、御殿場市図書館協議会から9名、御殿場市子ども読書活動推進会議から7名であり、それぞれの立場から専門的かつ実践的な意見が多く寄せられた。

2 基調報告への感想

「他の自治体での読書活動を進める斬新な施策を知ることができた」、「『読書のまち御殿場』ということばが新鮮だった」、「家読（うちどく）、読書密度などの用語が目新しかった」などの肯定的な意見が出た一方、「『読書のまち御殿場』の意味がわからない」「6つの自治体を選定した基準は何なのか」「ほかにも参考になる自治体はないのか」などの意見も出された。

3 本市の読書活動の現状

図書館協議会や子ども読書活動推進会議、図書館ボランティアなどの関係団体、幼稚園、保育園、こども園、小中学校は、それぞれの活動場所で読書活動を推進している。

また、「ほんてらす」ができたこともあり、市民の読書への関心は高まっている。一方で、「学校での読み聞かせや朝読書などは学校によりその取組の姿勢に開きがあったり、ボランティアへの依頼についても温度差があったりする」、「関係団体間の連携が十分とは言えない」との意見もあった。

また、「スマホを見ながら子育てをする親が多い」、「親が本を読まない子どもに読書の習慣は身につかない」、「何年も前から読書活動を推進しているがなかなか周知されない」などの意見も出された。

4 グループワークで寄せられた主な課題

（1）学校

- ・学校での読み聞かせや朝読書などはある程度統一してほしい。学校によって読み聞かせができる時間が様々である。
- ・図書館補助者が中学校区に一人しか配置されていない。視察報告にあったほとんどの自治体がすべての小中学校に図書館司書を配置している。
- ・視察報告にあったほとんどの自治体のすべての小中学校は学校図書館図書標準を満たしている。本市では達成されていない。
- ・学校の図書室にない本を「ほんてらす」から借りられないのか。他の自治体のような団体貸出制度があるといい。

(2) 家庭

- ・働くことで忙しいのか、読書している家庭は少ないように思う。
- ・親も子もスマホ・タブレットに釘付けである。
- ・毎月23日のノーメディアデーも忘れ去られてしまった。

(3) 地域

- ・手軽に本を借りられる場所が限られている。
- ・書店も減ってきている。

5 課題に対する解決策に関する意見

(1) 学校

神山小学校で行われていた図書館補助者による本の紹介が斬新であった。図書館補助者のような人がすべての小中学校に配置されていれば、学校の図書室は常時開放できる。現状は図書館補助者が出勤している時と委員会の子どもがいる昼休みだけの解放である。すべての小中学校への図書館司書の配置を望む。

そして、小中学校の学校図書館図書標準を達成してほしい。書架などは図書室でなくても設置することはできる。さらに、ほかの自治体のような団体貸出制度で学校の図書室にない本を「ほんてらす」から借りることができるといい。学校の蔵書を「ほんてらす」でも管理することはできないか。

(2) 家庭

家庭への働きかけは難しいが、「ほんてらす」へ親子で訪れることや、膝の上に抱っこして読み聞かせしたり読み聞かせを聞いたりすることなどを機会あるごとに紹介していきたい。スマホを見ながら子育てをする親に対しては、10分だけでも一緒に絵本を見る時間を作ることを推奨していきたい。

また、親が本を読まない子どもに読書の習慣はつかないことに対しては、家庭内で本について会話する時間を取るよう勧めていきたい。

(3) 地域

「ほんてらす」と連携して、公民館やコミセンで本の貸出・返却ができる制度はできないのであろうか。また、「ほんてらす」へ来てもらう発想だけではなく、園や学校、子育て支援の場、地域行事などに本を持っていくというように、本を家庭や地域の近くまで持っていくしくみも考えたい。

これらの制度は地域ボランティアと連携して進めていきたい。

【その他の意見】

Aグループ

- ・ 御殿場独自のキャッチフレーズをつくる
- ・ 旧図書館に來なかつた市民にも、足を運び、本に触れる拠点となつてほしい。
- ・ 子どもが本を好きになるには、まず大人が読む姿を見せることである。

Bグループ

- ・ 小さい頃にいかに出会うかで、その後が変わる。
- ・ 学校で本が返せると良い。学校と図書館をつなぐ。
- ・ 市内の書店を市民みんなで支える。本を選んで買う楽しみを味わつてほしい。

Cグループ

- ・ 何のために市民に読書を勧めたいのか。市民のメリットは。
- ・ 読書ボランティアのための休暇制度など官民連携で進める。
- ・ 小学生までをターゲットにして、今の施策を重視させる。

【ワークショップの様子】



Aグループ



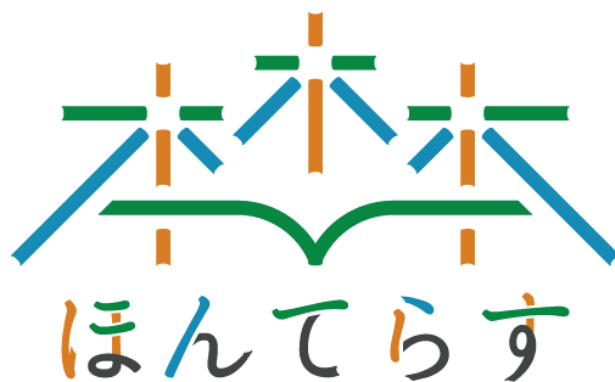
Bグループ



Cグループ



各グループから振り返り



6 まとめ

今回の議会報告会を通じて、読書活動に対する関係者の期待と意欲が確認できた。そして、学校や家庭、地域での課題も明らかになった。さらに、20年近く前から取り組んでいる子ども読書活動推進計画が市民に全く周知されていなかったり、ブックスタートで贈った本がブックオフで売られていたり、計画や目的の分かりにくさ、情報発信の不足など、その他の課題も見つけることができた。

本委員会としては、今回寄せられた以下の市民の声を重く受け止め、今後の調査・検討を進めるとともに、第三次子ども読書推進計画と市政への提言につなげていくものである。

○学校

- ・ 図書館司書の配置
- ・ 学校図書館図書標準
- ・ 学校図書室の地域開放
- ・ 学校への団体貸出制度

○家庭

- ・ お膝抱っこでの読み聞かせの推奨
- ・ 家読、家族で本を読み感想を語り合うことの勧め
- ・ 親子で図書館に

○地域

- ・ 図書館は地域の居場所
- ・ 「どこでも借りて、どこでも返せる」環境の整備
- ・ 普通の家庭が蔵書を一般開放する家庭文庫の推奨

○その他

- ・ 読書推進のロゴやキャラクターを使用した御殿場独自のキャッチフレーズ等

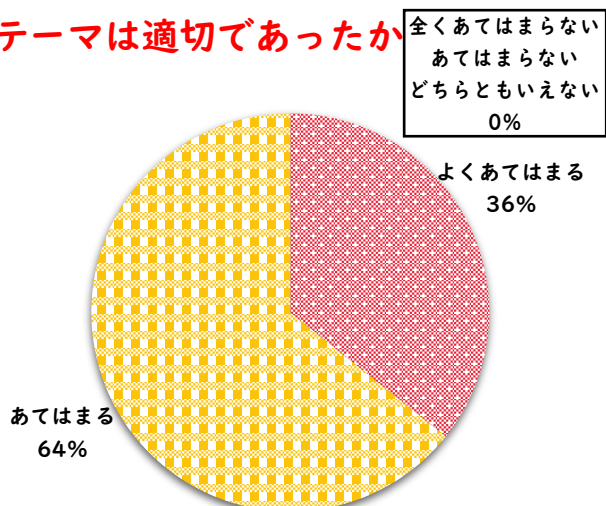
御殿場市議会福祉文教委員会 議会報告会アンケート結果

日 時：令和8年8月28日（金）

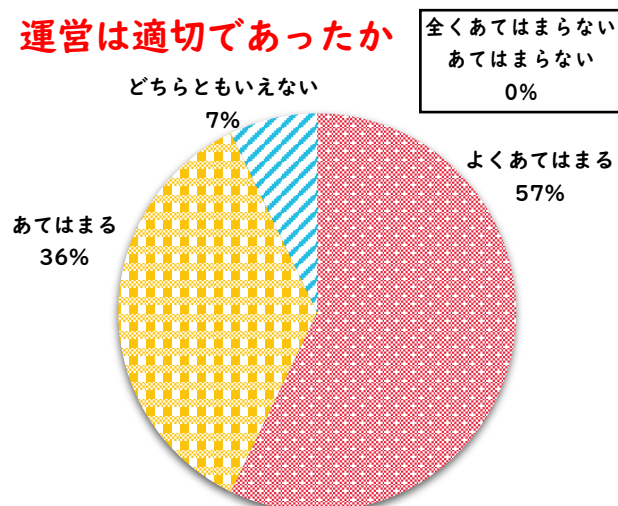
午後3時～

参加者：16人（回答14人）

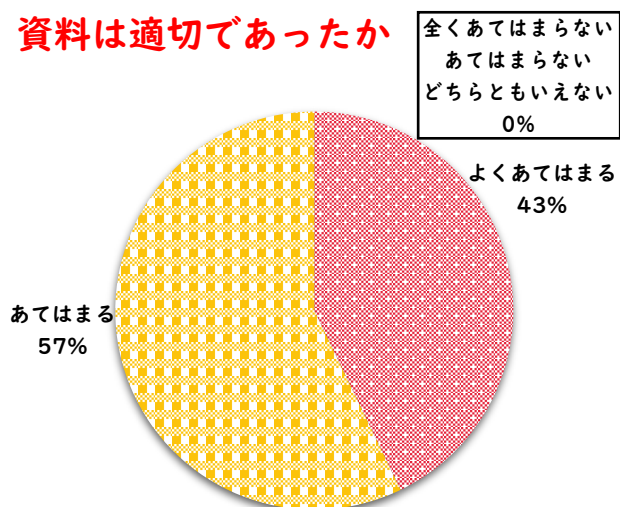
テーマは適切であったか



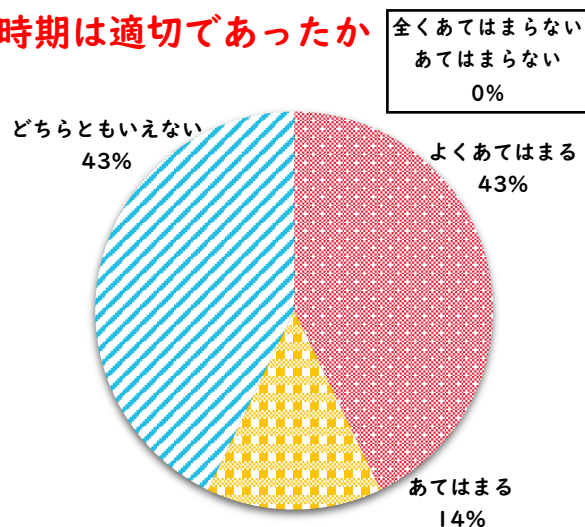
運営は適切であったか



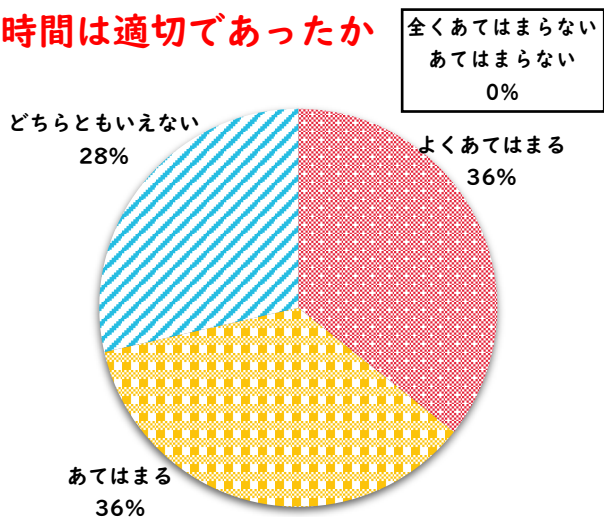
資料は適切であったか



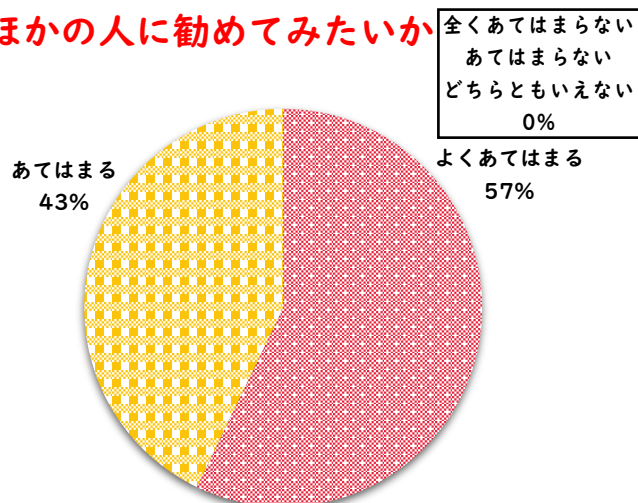
時期は適切であったか



時間は適切であったか



ほかの人に勧めてみたいか



報告会に関して改善した方がよい点・ご要望等

- ・このような機会をつくっていただきありがたい。読書について、たくさん話ができ、自分のためにもなった。
- ・このような双方向の報告会は初めてでしょうか。とても有益な情報を提供してくださり、参加者との意見交換も盛り上がりしました。KJ法による意見集約も良かった。このように市民の意見を様々に聴いていただいて、あとは市議会で、いかに政策として実現化されていくか期待している。
- ・「報告会」と聞いていたので、聴くだけで良いかを思っていたが、活発な意見交換もでき、有意義な時間を送ることができて良かった。
- ・報告は大変貴重で興味深いものだったので、できれば、なぜその視察先が決まったのかという経緯や、それぞれの視察先でのエピソードなども聞きたかった。(時間が足りなかった)
- ・各市町の取組の経過をもう少し詳しく教えていただけると良かった。
- ・紙資料に加えてスクリーンでの報告は、引き続きお願いしたい。写真の様子を詳しく説明してくださると、より分かりやすい。
- ・「読書のまち御殿場」という言葉を広めるためにも、色々な場で報告会をしてほしい。
- ・この先もこの活動を続けていってほしい。(図書館がオープンしたからではなく)
- ・市議会の報告会に参加して、議員の皆さまの取組がよく分かった。
- ・とても良い時間だった。
- ・学校の教員としての業務なので、16時30分に終了することを大切にしていきたい。
- ・時間の予定が、要項と異なっていたので、最初から2時間という形で伝えていきたい。
- ・動画があると、より分かりやすかった。資料はとても分かりやすかった。有意義な会議だった。
- ・動画があると、より理解できる。
- ・動画で見たかった。

市議会へ伝えたいこと

- ・御殿場市の教育、特に図書にける予算を増やしていただけると本当に嬉しい。本を増やすだけでなく、受入れのための環境をつくるためにもお願いしたい。
- ・各小中学校への司書の配置を是非、優先的に考えていただきたい。子どもたちの読書経験の始まり、水先案内人は必要。
- ・図書館司書を是非、各校に配置していただけるようお願いしたい。市としてどこを目指すのか、明確にして取り組めたら良い。
- ・学校の図書館補助者は、是非、一校に一人の配置でお願いしたい。
- ・ほんてらすの開館を機に、「読書のまち御殿場」を推進していただきたい。
- ・ほんてらすのアピールを効果的にしていただきたい。
- ・サテライト（図書館）の設置。その場で本が借りられ、その場で返却できるようにしてほしい。（例：学校の図書館で、ほんてらすの本が借りられ、学校の図書館で返却できるシステムをつくってほしい）
- ・いつも市民生活向上のためにありがとうございます。そこで生み出されたゆとりが、読書文化の向上に向かえば良い。
- ・議会だけではなく、このような報告会は議員の皆さまを身近に感じられるので、様々な機会で議場を離れてグループで活動していただくのも良い。
- ・市内学生たちへの議場開放の成果はいかがだったでしょうか。とてもよいアイデアだった。
- ・幅広い活動に感謝している。

御殿場市議会 福祉文教委員会 議会報告会

『読書のまち御殿場』を実現する

家庭・地域の読書文化づくり



「日本一の読書のまち」宣言をした
埼玉県三郷市にて



令和8年8月21日（金）

御殿場市議会福祉文教委員会 議会報告会 次第

日 時 令和8年8月21日（金）

午後3時～

場 所 ほんてらす 会議室

進行：【副委員長 小林 昌美】

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 委員自己紹介

4 基調報告・質疑応答（30分）

【委員長 高村 芳章】

5 グループワーク（60分）

6 各グループの結果発表（各5分）

7 委員長講評、お礼

8 閉 会



御殿場市議会福祉文教委員会 議会報告会 参加者一覧表

※順不同・敬称略

	所 属	役 職	氏 名
1	御殿場市立図書館協議会	副会長	古賀 啓子
2	御殿場市立図書館協議会 御殿場市子ども読書活動推進会議	委員	渡井 みほ
3	御殿場市立図書館協議会	委員	佐藤 緑
4	御殿場市立図書館協議会	委員	金光 美佐子
5	御殿場市立図書館協議会	委員	福井 真澄
6	御殿場市立図書館協議会	委員	三井 佳代
7	御殿場市立図書館協議会	委員	田代 洋子
8	御殿場市立図書館協議会	委員	三柴 美智子
9	御殿場市立図書館協議会	委員	須田 敏弘
10	御殿場市子ども読書活動推進会議	委員長	加藤 千恵子
11	御殿場市子ども読書活動推進会議	副委員長	鈴木 治子
12	御殿場市子ども読書活動推進会議	委員	勝間田 京子
13	御殿場市子ども読書活動推進会議	委員	浜田 宏美
14	御殿場市子ども読書活動推進会議	委員	杉山 茂樹
15	御殿場市子ども読書活動推進会議	委員	山口 美樹
16	御殿場市子ども読書活動推進会議	委員	阿部 真

席 表

スクリーン

司 会

福祉文教委員会 委員長
高村 芳章

福祉文教委員会 委員 永井 誠一		福祉文教委員会 副委員長 小林 昌美	
図書館協議会 委員 福井 真澄 様	Aグループ	子ども読書活動 推進会議 委員 杉山 茂樹 様	
子ども読書活動 推進会議 委員 山口 美樹 様		図書館協議会 委員 金光 美佐子 様	
図書館協議会 委員 子ども読書活動 推進会議 委員 渡井 みほ 様		子ども読書活動 推進会議 委員長 加藤 千恵子 様	

福祉文教委員会 委員 辻川 公子		福祉文教委員会 委員 芹澤 勝徳	
図書館協議会 委員 田代 洋子 様	Bグループ		
子ども読書活動 推進会議 委員 阿部 真 様			図書館協議会 委員 三柴 美智子 様
図書館協議会 副会長 古賀 啓子 様		子ども読書活動 推進会議 委員 勝間田 京子 様	

	福祉文教委員会 委員 川上 秀範	福祉文教委員会 委員 小林恵美子	図書館協議会 委員 三井 佳代 様
	Cグループ		
子ども読書活動 推進会議 委員 浜田 宏美 様	図書館協議会 委員 佐藤 緑 様	子ども読書活動 推進会議 副委員長 鈴木 治子 様	図書館協議会 委員 須田 敏弘 様

出入口

出入口

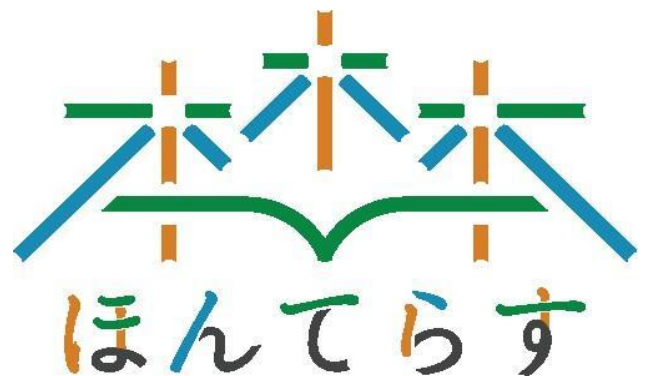
グループワークのメンバー構成

※順不同・敬称略

A グループ	団 体 名 ・ 役 職 名 氏 名	
	図書館協議会 委員 子ども読書活動推進会議 委員	渡井 みほ
	図書館協議会 委員	金光 美佐子
	図書館協議会 委員	福井 真澄
	子ども読書活動推進会議 委員長	加藤 千恵子
	子ども読書活動推進会議 委員	杉山 茂樹
	子ども読書活動推進会議 委員	山口 美樹
	副 委 員 長	小林 昌美
	委 員	永井 誠一

B グループ	団 体 名 ・ 役 職 名 氏 名	
	図書館協議会 副会長	古賀 啓子
	図書館協議会 委員	田代 洋子
	図書館協議会 委員	三柴 美智子
	子ども読書活動推進会議 委員	勝間田 京子
	子ども読書活動推進会議 委員	阿部 真
	委 員	辻川 公子
	委 員	芹澤 勝徳

C グループ	団 体 名 ・ 役 職 名 氏 名	
	図書館協議会 委員	佐藤 緑
	図書館協議会 委員	三井 佳代
	図書館協議会 委員	須田 敏弘
	子ども読書活動推進会議 副委員長	鈴木 治子
	子ども読書活動推進会議 委員	浜田 宏美
	委 員	小林 恵美子
	委 員	川上 秀範

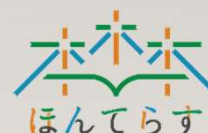


御殿場市議会 福祉文教委員会 令和8年度 議会報告会

「読書のまち御殿場」を実現する 家庭・地域の読書文化づくり

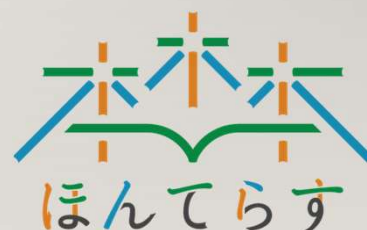
日時：令和8年8月21日（金）午後3時

会場：御殿場市立図書館 ほんてらす 会議室



次 第

- 1 開会のことば
- 2 委員長あいさつ
- 3 委員自己紹介
- 4 基調報告
- 5 ワークショップ（分散会）の説明
- 6 ワークショップ
- 7 各ワークショップの発表
- 8 質疑応答
- 9 参加者感想
- 10 お礼のあいさつ
- 11 閉会のあいさつ



メンバー紹介



委員長 高村 芳章



副委員長 小林 昌美



委員 永井 誠一



委員 芹澤 勝徳



委員 辻川 公子



委員 川上 秀範

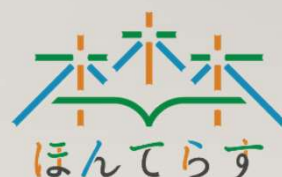


委員 小林 恵美子



令和8年度 御殿場市議会 福祉文教委員会

行政視察及び管内研修基調報告



1 委員会紹介と年間テーマ

2 視察及び管内研修

(1) 視察

6月22日 東京都荒川区、埼玉県三郷市

7月6日～8日 愛知県豊田市、愛知県瀬戸市、岐阜県郡上市、岐阜県岐阜市

(2) 管内研修

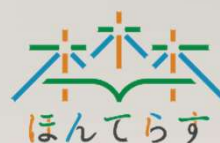
5月14日 国立青少年交流の家、御殿場西高等学校

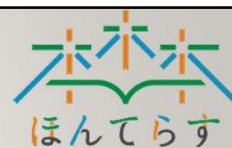
6月18日 んましんCOMPASS GOTEMBA、みんなの一箱図書館 さかいめ

7月16日 神山小学校

3 考察

4 まとめ





1 委員会紹介と年間テーマ

福祉文教委員会とは：健康福祉部 及び 教育部を所管

昨年度は「御殿場らしい生涯学習」教育→教育部所管

今年度は

「『読書のまち御殿場』を実現する家庭・地域の読書文化づくり」

教育→教育部所管

市民のみなさまに本を読んでもらいたい！

学校：読書量と学習内容の定着・読解力の相関関係、思いやりの心を育む

家庭：親の読み聞かせ（言葉と愛情のシャワー）で暖かい子に

地域：多世代のコミュニケーションの活性化、人と人がつながる居場所の形成、
地域の連帯感や絆の強化



2 (1) 視察先及び事業内容

- | | |
|---------|---|
| ①東京都荒川区 | 豊かな心を育む読書のまちづくり条例 |
| ②埼玉県三郷市 | 「日本一の読書のまち」推進事業 |
| ③愛知県豊田市 | 読書を起点とした子どもの探究力育成
地域連携の推進 |
| ④愛知県瀬戸市 | 図書館・学校図書館と地域の連携協働による
読書のまちづくり推進事業 |
| ⑤岐阜県郡上市 | 地域コミュニティを基盤とした読書活動の推進
家庭・地域に根付く読書習慣の形成 |
| ⑥岐阜県岐阜市 | 市民協働による読書活動の推進
家庭・地域に広がる読書文化の形成 |

2 (1) ⊖ 東京都荒川区 豊かな心を育む読書のまちづくり条例

○図書館は教育委員会ではなく区長部局、学校図書の充実、全小中学校（小学校24校、中学校12校）に図書館司書を配置、学校図書館図書標準達成

○公民92か所の「あらかわ街なか図書館」で図書館のサテライト機能が充実



2 (1) ⊖ 東京都荒川区

○区の宣言と条例で読書のまちとしての風土を醸成

○宣言ロゴ、読書のまちづくりロゴの作成



2 (1) ⊖ 埼玉県三郷市 「日本一の読書のまち」推進事業

- 「日本一の読書のまち推進課」
- 学校では感想や紹介、読み聞かせなどアウトプットを伴う学びへ
- 家庭では「家庭読書の日」や「家読（うちどく）」の推進
- 地域ではこども司書や読書ボランティアを養成
- 平成25年「日本一の読書のまち」を宣言



2 (1) ⊖ 埼玉県三郷市

- 「ふれあい文庫」や移動図書館「ふれあいブックワゴン」
- 市独自の独自指標である「読書密度」
- 高校生世代の読書離れ対策
- 「どこでも」「いつでも」「だれでも」という基本方針



2 (1) ⑤ 愛知県豊田市 読書を起点とした子どもの探究力育成

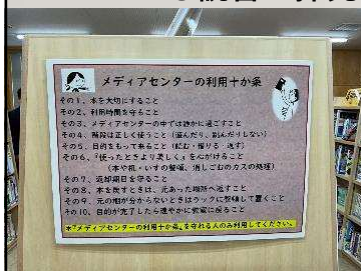
○全市、全庁的な推進体制の構築

(図書館協議会に福祉関連のメンバー、図書館管理課には現職の教員が2名)

○学校図書館を活用した主体的な学び

○朝日丘中学校メディアセンターの先進的取組

○読書と探究学習の連携



2 (1) ⑤ 愛知県豊田市

○家庭や地域を巻き込んだ読書活動、家庭文庫

○ネットワーク館の活用

○不読率への対応

○電子図書館の導入と活用



2 (1) ④ 愛知県瀬戸市

図書館・学校図書館と地域の連携協働による読書のまちづくり推進事業

- 商店街の活性化と図書の連携を目指す
- 市内の書店・商店街で「大人の朗読会」
- 「出版イベント講演会」「読書の祭典」
- 「リサイクル市」などを開催



← 瀬戸市立図書館 facebookより →



2 (1) ④ 愛知県瀬戸市

- 学校図書室の地域図書館としての活用
- 学校図書館との連携
- 司書の学校への派遣、団体貸出制度
- 図書館サポーターをボランティアで
- 本は地元書店組合からの購入
- 装備費は一冊80円で福祉団体が
- 瀬戸市の全図書館は直営方式



2 (1) ⑤ 岐阜県郡上市

地域コミュニティを基盤とした読書活動の推進と家庭・地域に根付く読書習慣の形成

○郡上市和良町公民館図書室は苦肉の策



2 (1) ⑤ 岐阜県郡上市

- ハード面だけでなくソフト面も
- サテライト機能の充実を
- 市民協働の視点で
- ボランティア（和良図書館を愛する会）の図書室の応援
- お膝抱っこでの読み聞かせ
- 親子で図書館へ
- 市民の83%が知っている「家読」





みんなの森
GIFU MEDIA COSMOS

2 (1) ⑥ 岐阜県岐阜市

市民協働による読書活動の推進と家庭・地域に広がる読書文化の形成

- みんなの森ぎふメディアコスモス
- 本で人とまちをつなぐ屋根のついた公園
- 未来を担う子どもたちを大切に育む事業への強いこだわり
- 市民と一体となって施設を創り上げていく市民協働の視点



2 (1) ⑥ 岐阜県岐阜市



みんなの森
GIFU MEDIA COSMOS

- 「ここにいると気持ちがいい」「ずっとここにいたくなる」「何度でも来てみたくなる」
- 地域の居場所
- 市長部局観光課の傘下
- 市の直営



2 (2) 管内研修

5月14日 国立青少年交流の家、御殿場西高等学校



2 (2) 管内研修

5月14日 国立青少年交流の家、御殿場西高等学校



2（2）管内研修

6月18日 ぬましんCOMPASS GOTEMBA、みんなの一箱図書館 さかいめ



2（2）管内研修

6月18日 ぬましんCOMPASS GOTEMBA、みんなの一箱図書館 さかいめ



2 (2) 管内研修

7月16日 神山小学校



3 考察 (1) 学校

荒川区

全小中学校に図書館司書を配置、学校図書館図書標準も満たす

豊田市

児童生徒による委員会活動や読書イベントの企画運営、安心して過ごせる「居場所」、メディアセンターを生活動線上に、学習スペースや展示スペースの充実、見せる書架や特集展示、コンクールで調査・研究・発表へ、小学校5年生と中学校2年生で不読率の調査

瀬戸市

学校図書室の地域開放、司書の学校への派遣と団体貸出制度

3 考察（２）家庭

三郷市

「家庭読書の日」や「家読（うちどく）」の推進、読書で得た感動を家族へ伝える「全国家読ゆうびんコンクール」

豊田市

家庭や地域を巻き込んだ読書活動、毎月23日の「本を語ろうの日」で、家族で本を読み、感想を語り合う時間を推奨、家庭文庫

郡上市

お膝抱っこでの読み聞かせなど家庭内での読書活動は情操的に効果的

岐阜市

みんなの森ぎふメディアコスモスは小さなお子さんを連れてくる親御さんの情報交換の場

3 考察（３）地域

三郷市

こども司書や読書ボランティアの養成、市民が読書推進の担い手

豊田市

ネットワーク館（28の交流館と3つのコミセン）を中央図書館と蔵書や物流システムを共有、「どこでも借りて、どこでも返せる」環境の実現

郡上市

郡上市和良町公民館図書室は、地域の図書機能を維持するための苦肉の策和良図書館を愛する会のボランティアによる図書室の応援

岐阜市

みんなの森ぎふメディアコスモスは「地域の居場所」未来を担う子どもたちを大切に育むの強いこだわり、市民と一体となって施設を創り上げていく市民協働の視点

3 まとめ

(1) 視察から得られたこと

○学校

図書館司書の配置、学校図書館図書標準、学校図書室の地域開放、学校への団体貸出制度

○家庭

お膝抱っこでの読み聞かせ、家読、家族で本を読み感想を語り合う、親子で図書館に、家庭文庫

○地域

図書館は地域の居場所、「どこでも借りて、どこでも返せる」環境、こども司書

3 まとめ

(2) 今後に向けて

- ・本市でもブックスタート、ブックスタートフォローアップ
- ・読書は読んで感想を抱き、語り合って完結
 - 学校で、家庭で、地域で→市民の理解、ボランティアの力
- ・第2次子ども読書活動推進計画は...
- ・「本とともにだち」プラン、“本でつなごう・ごてんばのあした”
- ・のぼり旗やキャラクターグッズで認知度向上を

ご清聴ありがとうございました